秋の火災予防運動

平成 27 年 10 月 15 日(木) ～ 10 月 31 日(土)

第 57 号

【平成 27 年度全国統一防火標語】

「無防備な　心に火災が　かくれんぼ」

留萌消防組合では、火災発生への危険性が高まるこの時期に火災予防運動の一環として、火災防ぎょ訓練をはじめ、火災予防に関連する各種行事の実施を予定しています。

家庭での火の用心はもちろん、各事業所や外出先などでも火の取り扱いには十分ご注意ください。

火の用心で安全なマチづくり

火災予防運動は、空気が乾燥して火災発生への危険性が高まることから毎年、春と秋に実施しています。

秋から冬にかけては、暖房機器を使用する機会が増えるため、身の回りに火災の発生要因が多数存在することになります。火災の無い安全なマチづくりのためにも、ストーブなど暖房機器やガスコンロなど火気設備を使用する際は、特に注意して火の用心を心掛けましょう。

灯油タンクの点検など雪害対策はお早めに

冬期間は、雪害による火災や事故が増えます。このため、暖房機器の点検や屋外の雪害対策などは積雪前に行うことが大切です。

ＬＰＧボンベや灯油タンクの点検などを十分に行い、大きな事故につながる前にあらかじめ危険箇所や注意箇所を把握し、雪害による火災や事故の発生を未然に防ぎましょう。

電気火災に気を付けましょう

電気は、私たちの生活から切っても切り離せないものです。ただし、時として火災の原因となることがあります。

電気火災の代表的なものに『**トラッキング現象**』があります。

トラッキング現象とは、冷蔵庫やテレビなど電化製品の電源プラグをコンセントに長期間差し込んだままにして差し込み口にホコリがたまり、発火してしまう現象です。トラッキング現象を含め電気火災を未然に防ぐためにも右記の点に注意し、電化製品を使用しましょう。

- ●プラグは、コンセントから抜き、定期的に乾いた布で清掃する。傷や緩みがあるものは使用しない。
- ●電源コードは、傷つかないように注意し、束ねたり、ねじれたままの状態で使用しない。
- ●タコ足配線はしない。